

# 双水柴山古墳群(唐津市)

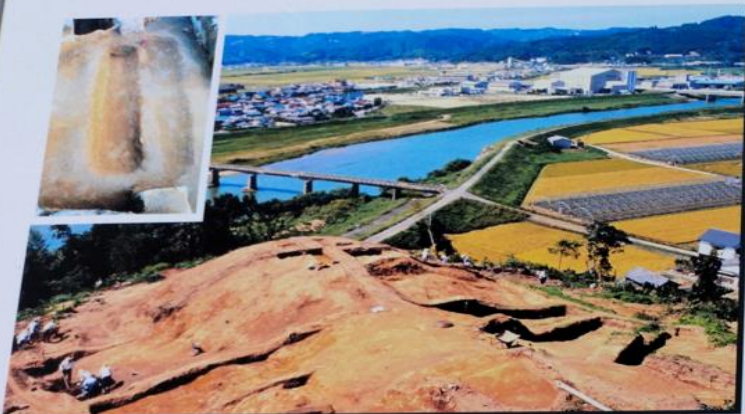
そうずいしばやま

前方の丘陵上に双水柴山古墳群が展開している/久里双水古墳の後円部墳頂から南東方向に見たところ/墳丘下に双水柴山古墳群の説明板があった

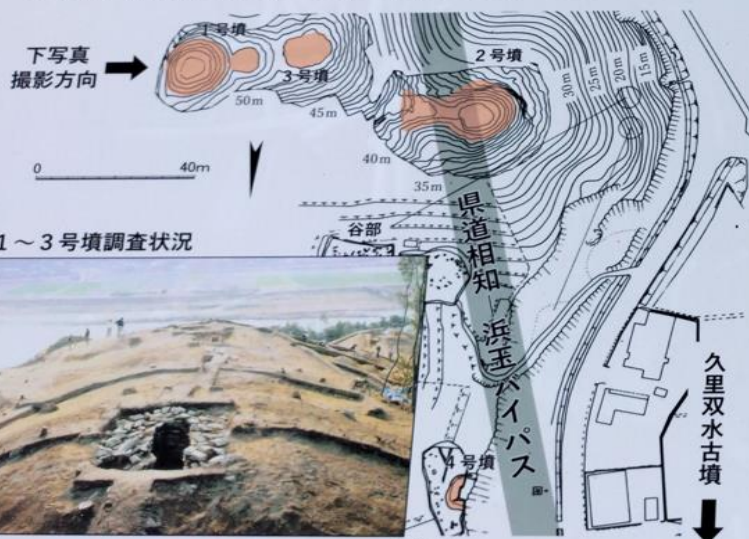




説明板/「2号墳は前方後円墳で、第1主体部の割竹形木棺を検出した。加えて、第2主体部の土坑墓を検出した。また墳丘裾部より壺棺を3基、掘立柱建物3棟と柵列を検出した。建物は葬送儀礼に関わる遺構の可能性も考えられる。」



2号墳（前方後円墳）の調査状況と木棺の痕跡



1～3号墳調査状況

双水柴山古墳群の位置と県道との関係 (S = 1/400)

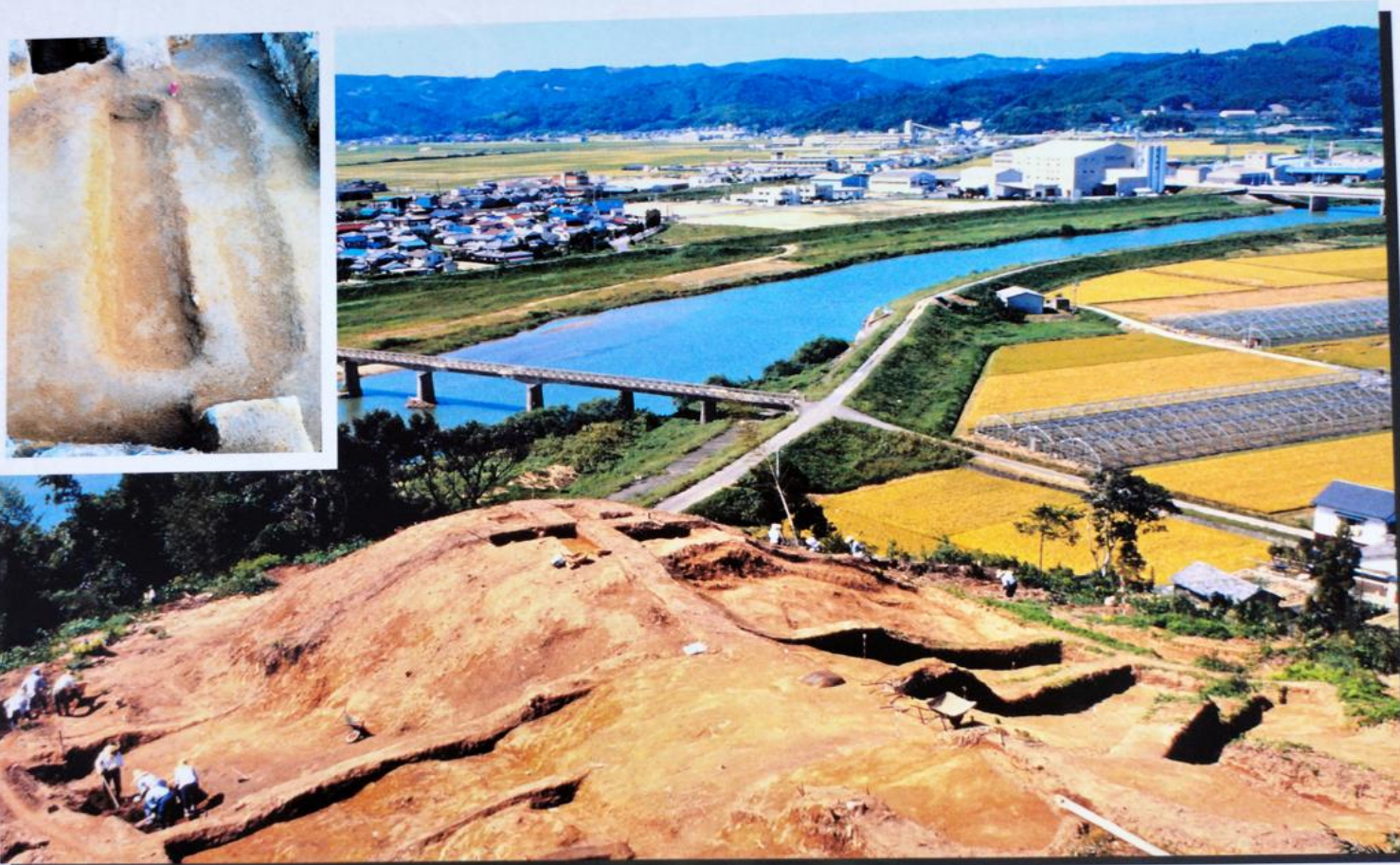
双水柴山古墳群は、県道相知―浜玉バイパスの敷設に伴って発見された、三基の古墳と一基の小墳墓からなる古墳群です。三基の古墳（一、三号墳）は、久里双水古墳から南東約四〇〇mの距離にある丘陵上に位置し、小墳墓（四号墳）は、丘陵北側の谷部付近で見つかりました。古墳時代前期前半から中期に築かれた古墳群であり、なかでも二号墳は、久里双水古墳とほぼ同時期の全長三十二mの前方後円墳と考えられています。こちらの墳丘は盛土を積み上げて全体を形づくっています。四号墳以外の古墳からは、鉄器や玉類等の副葬品が見つかった。か、一号墳と三号墳には合わせて五体分の人骨が残っていました。唐津の古墳時代前半期の古墳築造の変遷・階層性を考える上で重要な古墳群であることから、平成四年九月に市の史跡に指定されています。

# 双水柴山古墳群

前方後円墳を含む中型・小型の古墳群



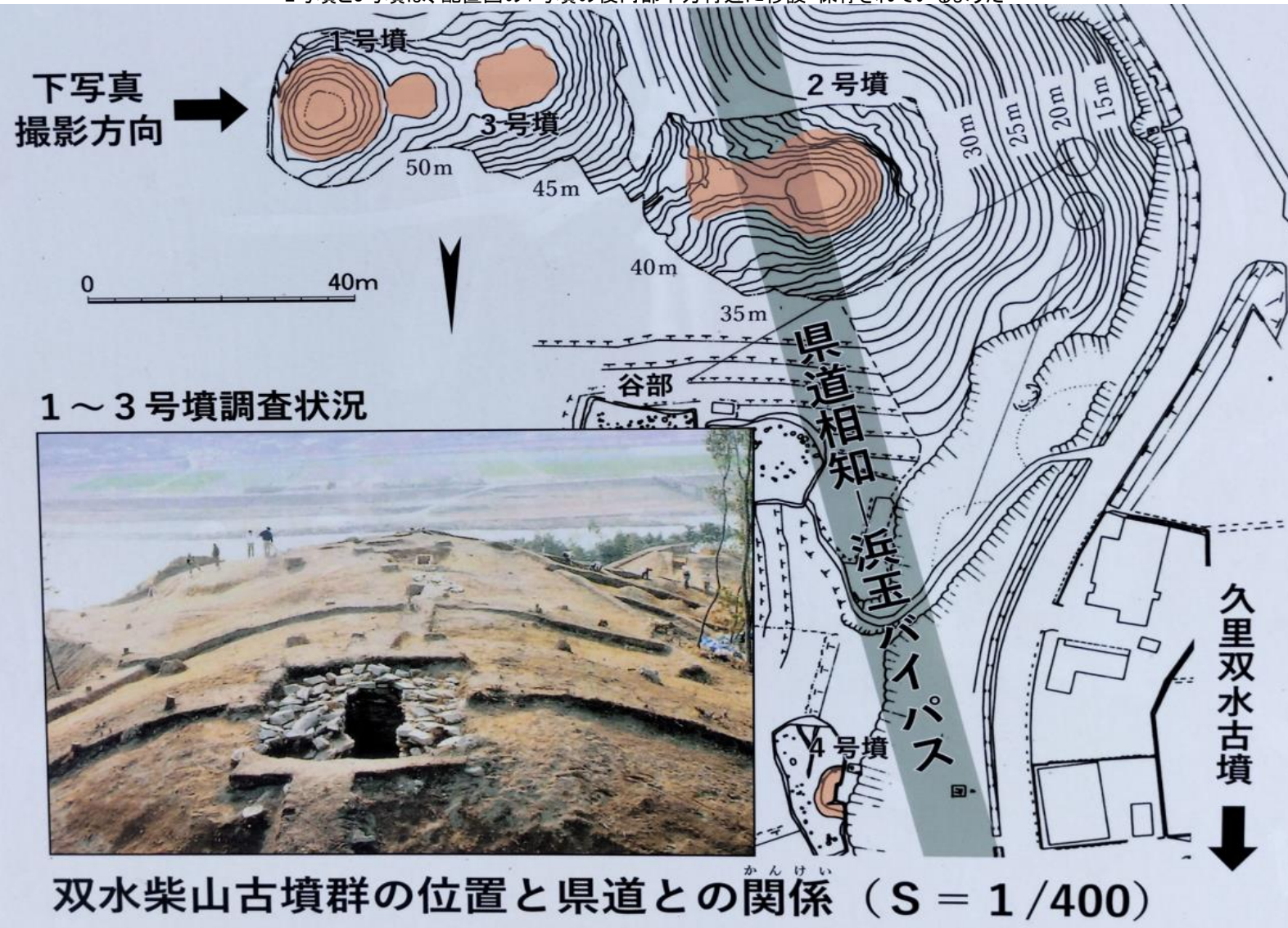
その2号墳は発掘調査後、県道のバイパス敷設で破壊されてしまったが、現在は1号墳の傍に一部が移設・保存されているとのこと



2号墳（前方後円墳）の調査状況と木棺の痕跡



2号墳と3号墳は、配置図の1号墳の後円部下方付近に移設・保存されているようだ





ここから右手の双水柴山古墳群が展開している丘陵上に登って行く

 video





説明板が立っていた





2号墳は4世紀の前方後円墳と記されているが・・・

そうずいしばやまこふんぐん

## 唐津市重要文化財 双水柴山古墳群

SOUZUI-SHIBAYAMA TUMULAS

この遺跡は昭和59年に発見、翌60年に調査が行われ、4基の古墳から成る古墳群であることがわかりました。2号墳が古墳時代前期（4世紀）の前方後円墳、4号墳が同前期（4世紀）の方形周溝墓で、3号墳は同前・中期（4～5世紀）の方墳、1号墳は同中期（5世紀）の前方後円墳もしくは円墳・方墳です。特に2号墳は全国的に見ても古い時期の前方後円墳で、前方後円墳としての定型化が十分でない初期のものともみられています。隣の久里双水古墳を含めると大型（久里双水古墳）・中型（1・2・3号墳）・小型（4号墳）の3種の古墳類型があります。

現在、1号墳は現地保存され、2号墳と3号墳は主体部のみ移設して保存されています。

唐津市教育委員会



登り始めるとすぐに双水柴山4号墳の標柱が立っていた









4号墳/「方形周溝墓を検出した。周溝内より土師器と石斧が出土した。後円部の石室内では赤色顔料が塗付されており、床面には地山上に砂混じりの土が敷かれていた。副葬品で管玉や鉄剣、刀子が出土した。また、墳丘裾部において、中世の空堀と考えられる遺構を検出した。寒水井氏の城館か。」





こちらは単なる墓地のようだが・・・





さて、更に登って行く





双水柴山1号墳の前方部が見えて来た





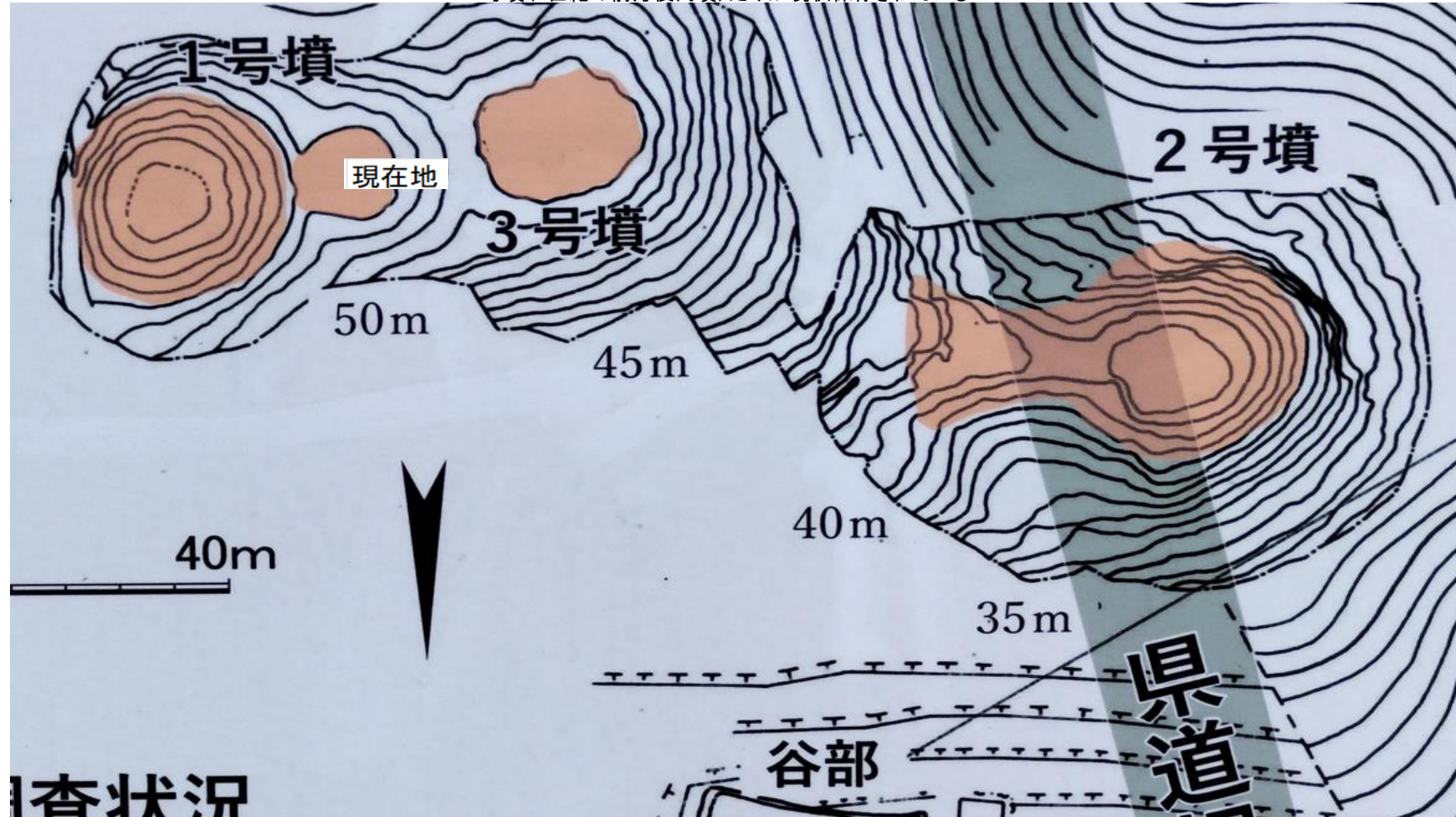
1号墳の前方部から後円部方向を見たところ/後円部墳頂に標柱が立っている

 [video](#)





1号墳(5世紀の前方後円墳)だけが現状保存されている





1号墳の括れ部の辺りで後円部を見たところ/「後円部で初期横穴式石室、前方部で箱式石棺を検出した。」

[video](#)









後円部墳頂から前方部方向を見たところ

 video





後円部の後ろから墳丘を見上げたところ

 video





双水柴山遺跡案内板

遺跡は唐津平野西南部の松浦川が平野を流すに際して、谷間の川に向かって突き出した所段の台地、箱津市域の宇賀地区の山手地区に位置しています。

遺跡は県道工事に際して昭和製鉄（株）が発見したもので、昭和60年に調査が行われました。

その結果、4基の古墳が確認されました。第1号墳は2・4・3・1号墳の南です。

遺跡の内容は、1号墳が古墳時代前期（4世紀）の方形周溝墓、2号墳が同前期（4世紀）の方形周溝墓、3号墳が同中期（4・5世紀）の方形周溝墓、4号墳が同中期（5世紀）の前方後円墳もしくは円墳、5号墳が同後円墳です。また、1号墳において古墳時代の小規模な土器群が発見されています。

さらに、2号墳が全国最大規模の古墳時代の前方後円墳であり、その周囲に排水溝をめぐらし、大型の土器や小型の土器、石製の土器など、古墳時代の土器類は多く出土しています。

道路工事で2・3号墳は削られました。1号墳については、土壌の保護と埋めて保存しています。

唐津市教育委員会

遺山口県道上幸に降して昭和39年に見された。翌60年に調査が行われました。

漢朝の武帝は、六朝古墳時代の前（4世紀）の武帝の

図 4 号墳が何時期(本世紀?)の方形古墳であろうか(同前)

市で、2番目に全国に於いて最古級の地方後円墳である。

隊の工事の計画等にもよる。大型・中型・小型の三種の  
車に分けられ、各型があり、さらに設計の存在意義は大きいと言えます。

理路1事で2・3名賛成はありましたが、主体部において  
中絶の巨額を理路で保存しています。

唐津市教育委員会



さて、1号墳から少し配置図の下方に進む





これが3号墳(3号墳もバイパス敷設の関係で、ここに移設・保存となったようだ)／「方墳で、箱式石棺を検出した。棺内より人骨2体と鉄斧・鉄鉈、滑石製勾玉・白玉・碧玉製管玉の副葬品が出土した。」／標柱が立っていた [video](#)





ここにも説明板があったが、劣化していて良く読めない





これは3号墳の標柱とその背後にある2号墳の方向を見たところ

[video](#)





2号墳の方向に進むと、草陰に標柱が立っているのが見えた

[video](#)







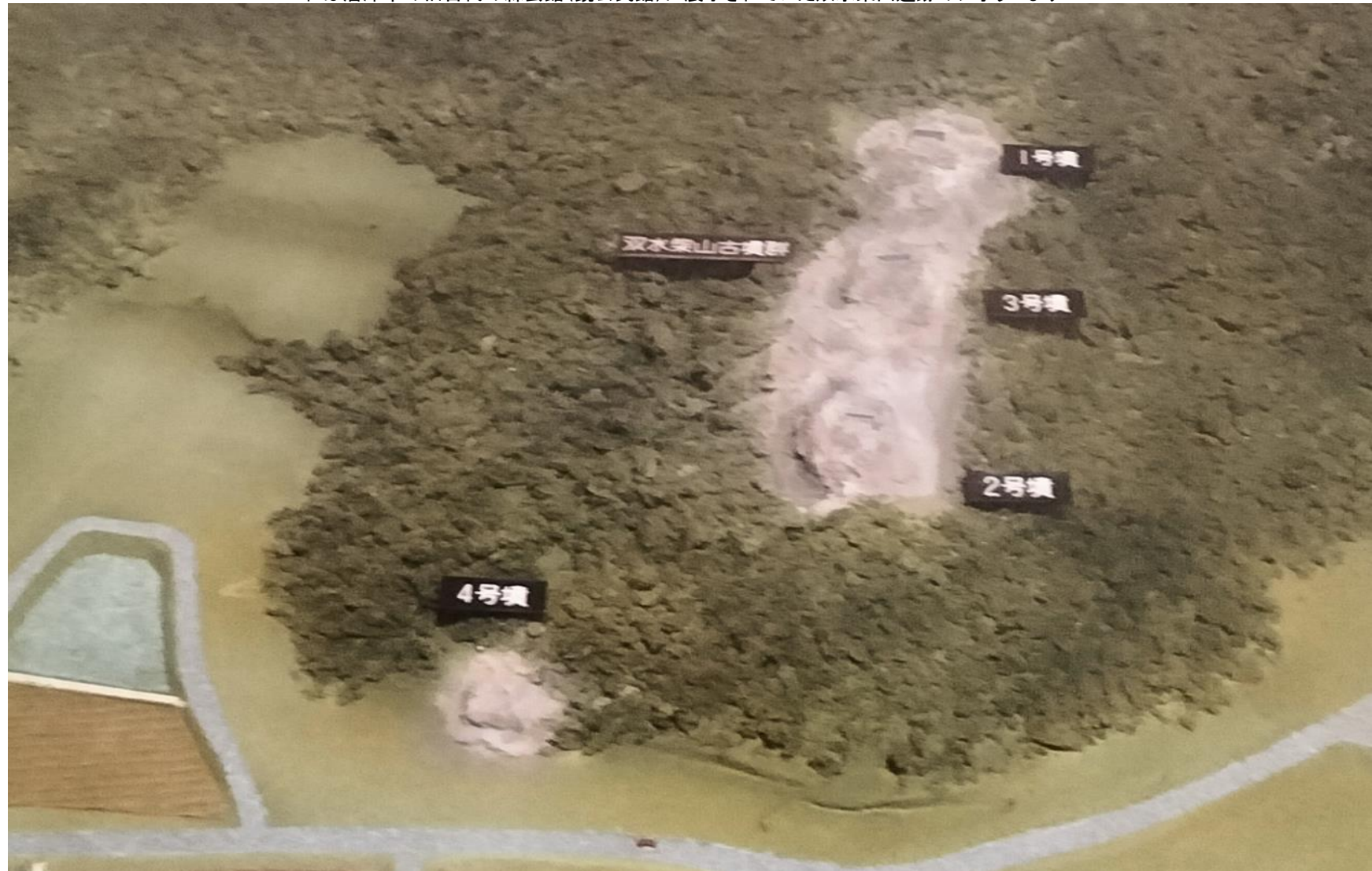


標柱の裏側を見ると「双水柴山2号古墳」と刻まれていた



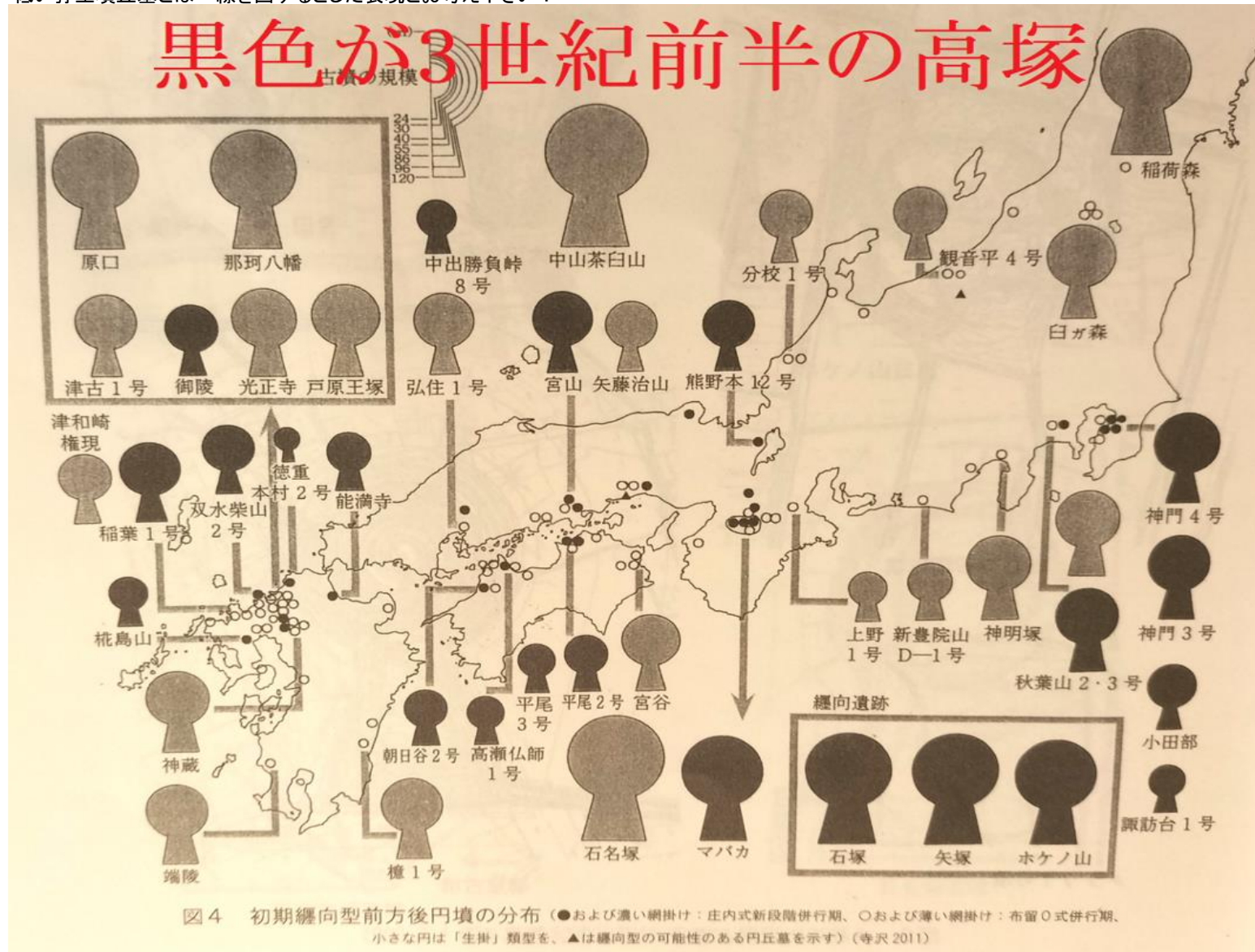


これは唐津市の旧古代の森会館(鏡公民館)に展示されていた双水柴山遺跡のジオラマより





ところで、双水柴山2号墳は3世紀前半の纏向型前方後円墳に括られている/なお、「高塚」とは高い墳丘墓＝古墳のこととし、それまでの低い弥生墳丘墓とは一線を画するとした表現とお考え下さい！



2023年11月25日 東京フォーラム「前方後円墳創生」の配布資料に一部(赤字)加筆



畿内の纏向の地を中心に3世紀初頭頃に発生した纏向型前方後円墳が、北九州のこの地まで波及している

これは畿内の纏向の地を中心に政治的ネットワーク(連合)が形成されていたことを物語るのではないだろうか/魏志倭人伝に、3世紀前半の邪馬台国の時代は30ヶ所程のクニグニが卑弥呼を共立し、女王国連合を形成していたとあるのは、この様相を伝えているのではないだろうか/そう考えると、「卑弥呼は北部九州にはいなかった」ことが見えて来るのだが・・・



